

じんけん てんぱく ねんど だい かい しゃかいどうわきょういくこうざ
人権プラザ天白 2015年度 第1回 社会同和教育講座



がつ にち にち てんぱくだいにしゅうかいじょ こんねんどだい かいめ
6月28日(日)、天白第二集会所において、今年度第1回目の

しゃかいどうわきょういくこうざ かいさい もとみだきちゅうがっこうちやう
社会同和教育講座を開催しました。元三滝中学校校長の

うえのこうや こうし まね よっかいちし どうわきょういく あゆ えんだい よっかいちし
上野耕也さんを講師としてお招きし、「四日市市における同和教育の歩み」という演題で、四日市市における

どうわきょういく お どうわきょういく すいしん と く せんじん かたがた おも はな こうえん
同和教育の起こりや同和教育の推進に取り組みされてきた先人の方々の思いを話していただきました。講演の

さいご どうわきょういく なかねんたすさ うえの いま どうわもんたい たい かん かた
最後には同和教育に長年携わってこられた上野さんが、今、同和問題に対して感じていることについて語っ
ていただきました。

こうえん ぼうとう どうわきょういく はた ぶ てんぱく ますやまえいいち かた
講演の冒頭で、「同和教育の旗を振ったのは、この天白にいらっしゃった増山英一さんという方です。こ

おほ かえ はな よっかいちし どうわきょういく すいしん じんりよく かた てんぱく
のことは覚えて帰ってください。」とお話しされ、四日市市における同和教育の推進に尽力された方が天白

かた しょうかい つづ じっさい よっかいちし じっさい はっせい さべつじけん はな
の方であったことを紹介されました。続いて、実際に四日市市で実際に発生した差別事件についてお話し

うえ きんねん み えけんみん たい おこな じんけんいしきちやうさ けっか さべつ か こ
いただいた上で、近年、三重県民に対して行われた人権意識調査の結果をもとに、差別は過去のことではな

けっこん じゅうきここうにゅう たい さべついしき のこ げんきゅう
く、まだまだ結婚や住居購入に対する差別意識が残っていることに言及されました。

こうえん さいご むかし どうわもんたい かん ほん ほんや なら いま ぜんぜんみ
講演の最後には、「昔は同和問題に関する本が、本屋さんに並んでいた。しかし、今では全然見かけなく

ね こ お かんが かた どうわもんたい はな ふんいき ただよ
なった。」「寝た子を起こすなという考え方から、同和問題について話すことはタブーのような雰囲気がかた

かん うえの げんざいかん はな われわれ ね こ お
っているように感じる。」と、上野さんが現在感じられていることを話されました。また、「我々は寝た子を起

おお きょういく ただ たいど おも きょういくしゃ けつひ ゆうき きょういく すいしん あ
こして大いに教育することは正しい態度だと思う。教育者は決意と勇気をもってこの教育の推進に当た

ますやまえいいち ことば しょうかい あせ なが さむ なか て いき ぶ かつどう
ってもらいたい。」という増山英一さんの言葉を紹介され、「汗を流し、寒さの中で手に息を吹きかけ、活動を

ひろ ひとびと おも どうわきょういく あゆ かた
上げようとしてきた人々の思いと同和教育の歩みを止めてはいけない。」と語られました。

よっかいちし どうわきょういく あゆ ないよう かた ほう すく なか うえの
四日市市における同和教育の歩みという内容で、語っていただけの方が少なくなっている中で、上野さ

あゆ せんじん かたがた おも うかが ひ た かん
んからこれまでの歩み、先人の方々の思いなどをお伺いし、この火を絶やしてはいけないと感じさせられる

ないよう
内容でした。